

院長コラム

医療に限界はあっても、ケアには無限の可能性がある

病気そのものを治すことが難しくなったり、身体の機能を元に戻せなくなったりすることがあります。医療には、どうしても限界があります。

けれど、できることがなくなるわけではありません。

痛みや息苦しさを和らげる。身体の向きを工夫して楽に眠れるようにする。食べる量が減っても、好きなものを少し味わう方法を考える。介護する家族が休めるように、サービスを組み合わせる。暮らしを支えるための工夫には、まだ多くの可能性があります。

私は、「医療に限界はあっても、ケアには無限の可能性がある」と思っています。

ただし、これは家族にもっと頑張ってもらいたいという意味ではありません。家族だけで抱え込むのではなく、訪問看護師さん、介護士さん、ケアマネジャーさん、リハビリ職など、在宅療養を支えるプロたちの力を最大限に利用してほしい、という意味です。

専門職は、知識や技術だけでなく、さまざまな患者さんの暮らしに関わる中で培ってきた、たくさんの知恵を持っています。「こんなことを相談してもよいのだろうか」と思うような小さな困りごとにも、暮らしを楽しむヒントが隠れていることがあります。

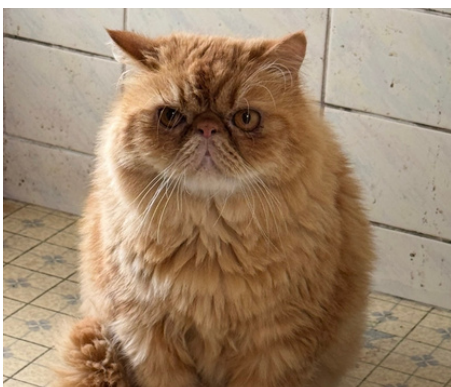
家族の役割は、医療者や介護職の代わりになることではありません。大切な人のそばで、家族にしかできない時間を過ごすことです。

支える家族も、支えられてよい。家族と専門職が力を持ち寄ることで、その人らしい暮らしを続けられる可能性は、もっと広がっていきます。



茶屋町在宅診療所 院長 亀山有香

わがや自慢



Sさんちのダンくん・5歳♂

低いお鼻が可愛いダンくん。

こんな仏頂面ですが、

訪問の時はとびきりお愛想してくれます。

8月も続々とゲストシェフさんをお迎えします！

オープンから約2か月が経過し、少しずつですが「日替わりゲストシェフ」という営業形態が認知されつつあり、お客様はもちろん、出店してみたいというありがたいお声もいただいております。

おかげさまで8月もほぼ毎日ゲストシェフの出店予定がありますので、涼みがてらふらっと覗きに来てください。お隣の「花好」さんの瑞々しいグリーンが、より涼しさを演出してくれていますよ。

(なお8月8日(土) 9日(日)は研修会開催のため貸切となっておりますのでご注意ください)

7月にはコミュニティ財団「公益財団法人みんなでつくる財団おかやま」様に交流会を開催していただきました。制度の狭間にある身近な課題についての情報共有・意見交換の場となりました。

またSNSでいろいろな方が情報を共有してくださり「ここならベビーカーやバギー、車いすなども大丈夫だと思って来ました」というお声をいただくことも励みになっています。

今後もよろしくお願いいたします。



スタッフ紹介

白鳥 飛鳥 (はくちょう あすか) ・
医療事務

在宅診療で学ぶべきことは多くありますが、一つひとつの知識と経験を積み重ね、周囲と協力しながら信頼される事務職員を目指していきたいです。

休日はジムで体を動かしたり、息子の野球の応援やサポートに出かけたりと、アクティブに過ごしています。体を動かすことで心身ともにリフレッシュでき、前向きな気持ちで仕事に取り組むことができています！

どうぞよろしくお願いいたします。



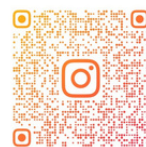
編集後記

今月もお読みいただきありがとうございます。

茶屋町ハレノヒの情報はInstagramにて随時更新しています。

また、道路に面した看板にもその日の内容を表示し、店内にカレンダーを印刷して置いております。

暑さの厳しい日が続きますので、ご家庭や外出先、職場など、あらゆる場所での熱中症対策を万全にしてください。



@HARENOHI_CHAYAMACHI2026

茶屋町在宅診療所

〒710-1101

倉敷市茶屋町360番地12

 <https://chayamachi-homecare.jp/>

 086-429-0033



インスタも
チェックしてね！



@TORA9_9CHAYAMACHI

